

前しか向かれへん



ほなまた明日

田中真琴 松田峻汰 重松りさ 秋田卓郎

大古知遣 ついひじ杏奈 越山深喜 ゆかわたかし 加茂井彩音 福地千香子 西野風沙

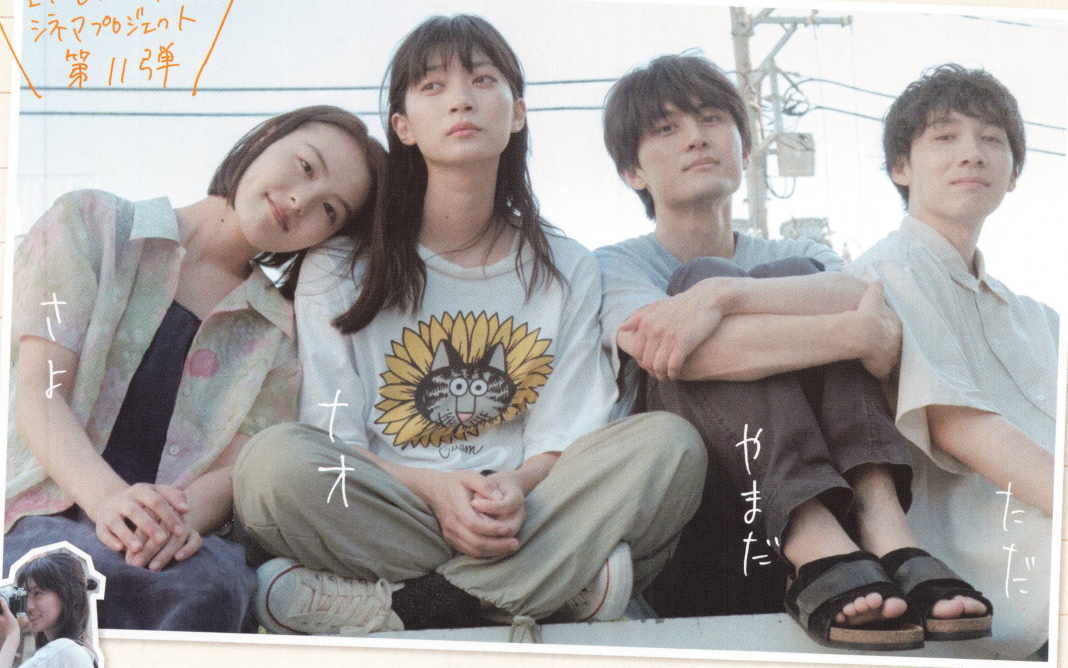
監督：道本咲希 脚本：郷田流生 道本咲希

撮影：関瑠惟 照明：松島翔平 録音：坂元就 美術：島智哉 スタylist：大場千夏 ヘアメイク：荒川瑠美 助監督：中村幸喜 制作：小林徳行
スチール：染谷かおり 劇中スチール：瀬上裕太 編集：中村幸貴 音楽：大江康太 小金丸慧 入江陽 宣伝：平井万里子 題字・宣伝デザイン：三宅宇太郎
ラインプロデューサー：田中佐知彦 アソシエイトプロデューサー：大久保孝一 黒川和則 児玉健太郎 南太郎 渡辺雄介 プロデューサー：市橋浩治
特別協賛：真琴の愉快な仲間たち ラディアスセブン 制作・配給：ENBUゼミナール 2024 | カラー | アメリカンピスタ | 2ch | 99分 ©ENBUゼミナール



124599-A

ENBUゼミナール
シネマプロジェクト
第11弾



写真家になるという夢に向かってひた走るナオ。そんなナオに友人たちは憧れ、振り回され、そして、気付かされる。本当に実現したい夢はなにか。たどり着きたい未来はどこなのか

● 新鋭・道本咲希監督による長編映画デビュー作

ヒリヒリとした現実を突きつける、新しい青春映画

写真家を目指し、不器用ながらも自分を信じて歩き続ける芸大生の草馬ナオ。その圧倒的な情熱に嫉妬や焦燥を抱えつつも、どこか救われていく同級生の友人たち。同じ道を歩んでいるはずの彼らが、才能や境遇に折り合いをつけながらそれぞれの歩幅で進んでいく切なくも愛おしい日々が綴られる。

登場人物たちの心のゆらぎをすくい取ったのは、19歳の切実な悩みを自ら主演して完成させた短編映画「19歳」が、PFF アワード 2018 審査員特別賞を受賞した道本咲希。SNS で見ず知らずの「いいね」

の数に感情が左右されるようになった現代。他人の反応に流され、自分自身を信じ続けることが一段と難しくなった時代とも言える。そんな世の中の空気に危機感を覚えた監督が、自らの進む道を信じて歩き続ける女性を主人公に本作を完成させた。いままさに叶えたい夢をもつ人、そして、かつて夢があったすべての人の背中を押し、「愛と痛み」を内包した青春映画で、堂々の長編映画デビューを果たす。



大阪。大学卒業を控えたある年の夏。写真家を目指す芸大生の草馬ナオ(田中真琴)は、写真中心の生活を送っていた。同じ写真学科の小夜(重松りさ)、山田(松田峻汰)、多田(秋田卓郎)は、そんなナオに振り回されつつ、才能を認め彼女を応援していた。人生の選択を目の前に、迷いの中、時に傷つけあい、励ましあう彼らたち。そんな彼らに、ナオの写真にける情熱が様々な選択を迫っていく。卒業後、4人はそれぞれの人生を歩み始める。4年ぶりに再会したナオたち。そこで山田が失踪していることを知る。



好きに歩いたりええ！



2024年9月28日(土) 新宿 K's cinema ほか 全国順次公開!

全国共通特別鑑賞券 ¥1,500 (税込) 好評発売中!

新宿駅東南口南段下ル 甲州街道沿道コマショップ左入ル

新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com

各回入替・全席指定席

